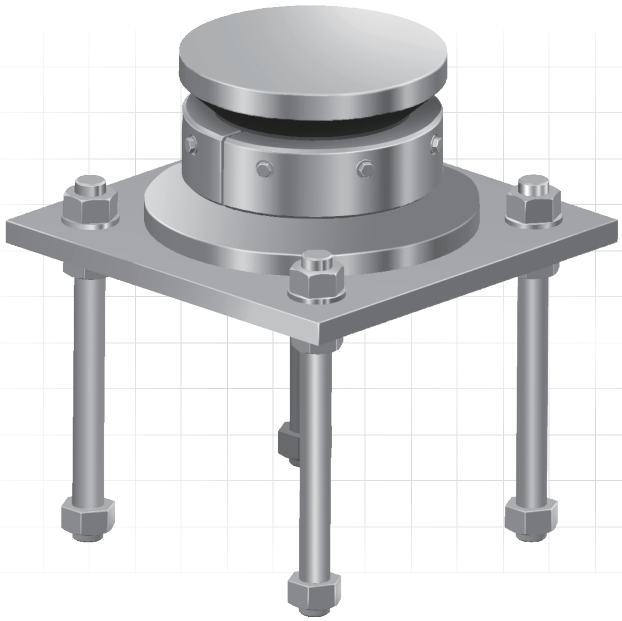
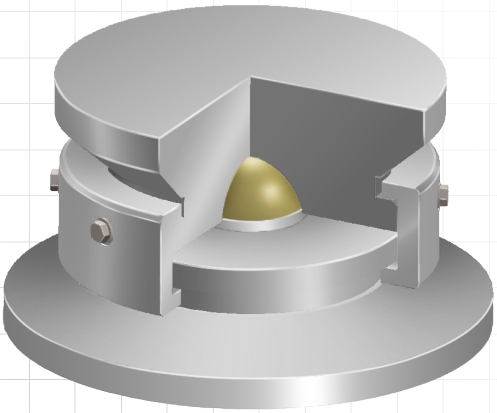
KPV

ピボット支承
Pivot Bearing





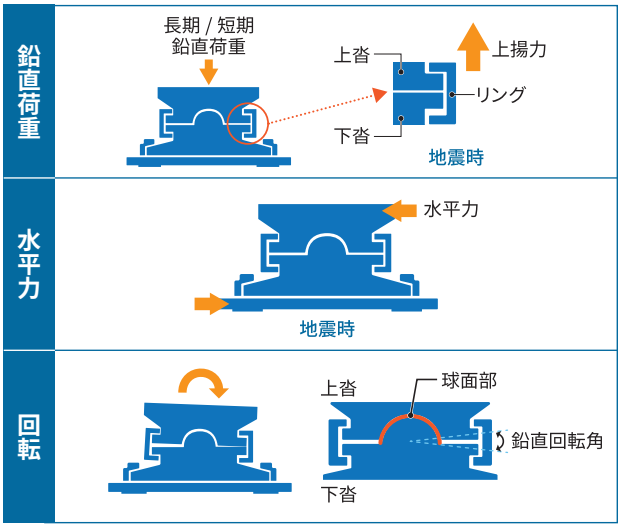
ピボット支承は上沓は凹面状に、下沓は凸面状にそれぞれ球面仕上げをして組み合わせることで、鉛直荷重を支持し、構造体の回転に追従可能な固定支承です。

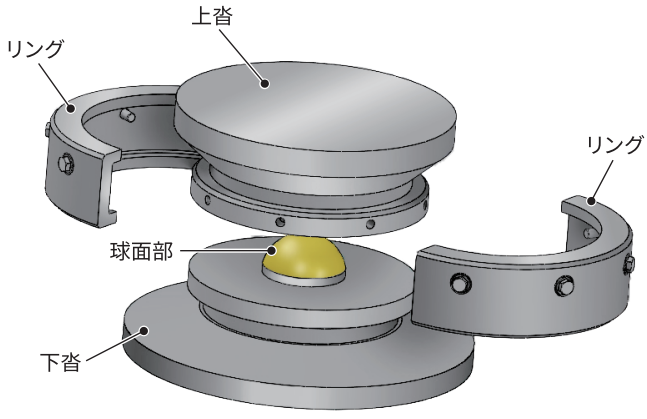
1 大きい荷重を支持することが可能

2 構造体の傾きを吸収し、全方向の回転に追従可能

3 溶融亜鉛めっき仕様のほかに、塗装仕様も対応

●基本構造





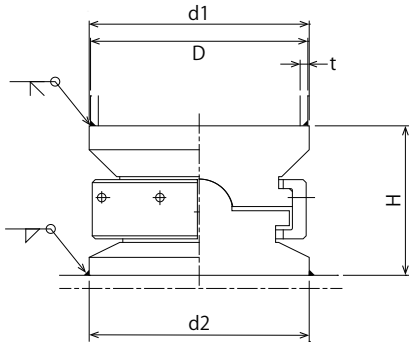
上沓、下沓、リングの材質は指定建築材料のSCW480を使用しております。

Kawakin Core -Tech Co.,Ltd.

製品ラインアップ

型式	長期		短期			使用最大鋼管※1		上沓径 d1 (mm)	下沓径 d2 (mm)	支承総高さ※2 H (mm)	鉛直方向回転角度 (rad)	水平方向回転角度 (deg)
	鉛直荷重 (kN)	水平力 (kN)	鉛直荷重 (kN)	水平力 (kN)	上揚力 (kN)	径 D (mm)	板厚 t (mm)					
KPV-500	500	125	1000	250	125	φ318.5	10.3	φ330	φ330	200	1/25	360
KPV-1000	1000	250	2000	500	250	φ355.6	12.7	φ360	φ360	250		
KPV-1500	1500	375	3000	750	375	φ406.4	19.0	φ410	φ410	295		
KPV-2000	2000	500	4000	1000	500	φ457.2	19.0	φ460	φ460	345		
KPV-2500	2500	625	5000	1250	625	φ508.0	22.0	φ510	φ510	375		
KPV-3000	3000	750	6000	1500	750	φ609.6	22.0	φ620	φ620	415		

個別の設計条件に合わせた仕様も対応可能ですので、ご相談ください。
※1 鋼管サイズが使用最大鋼管の径を超える場合は別途検討が必要となります。　※2 上下躯体との接合方法が溶接タイプの場合の高さを示します。



接合方法

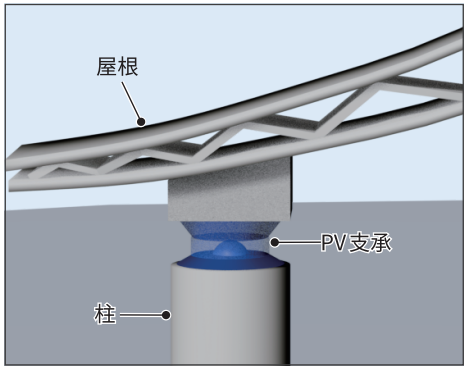
TypeA	TypeB	TypeC	TypeD	TypeE
溶接タイプ	アンカーボルトタイプ	ボルトタイプ	スタッドジベルタイプ	H.T.Bタイプ

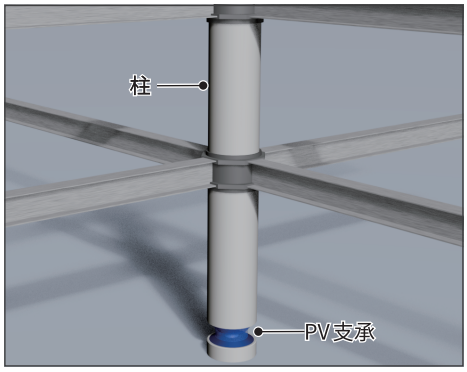
防錆処理

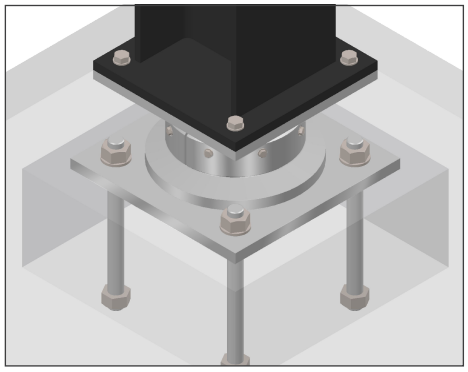
防錆処理	部位	仕様
めっき	鋼材	溶融亜鉛めっき：HDZT77(旧JIS HDZ55)
	ボルト	めっきボルト　：HDZT49(旧JIS HDZ35)

※塗装仕様も対応可能です。

使用例

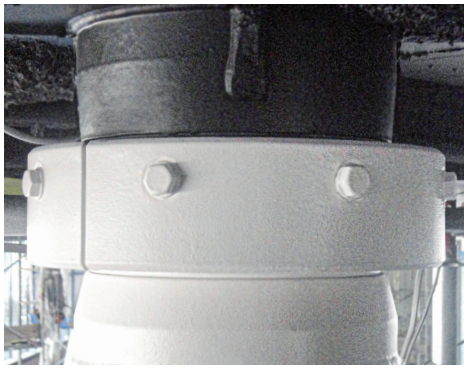


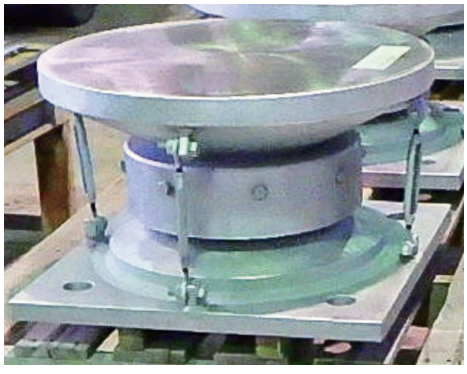




アーケードや大屋根の支持部材として、また、柱脚・柱頭部にも採用されています。

実製品





Kawakin
株式会社 川金コアテック

▼各種お問い合わせはこちらから
https://kawakinct.co.jp/contact/